

## 令和3年度第1回酒田市女性活躍推進懇話会提案等概要

### 【日本一女性が働きやすいまち実現に向けて】

・真の女性活躍とは、働くことへの障害がなくなることが一番の目的。時代は変わりつつあり、これまでの当たり前が変わってきていることを、少しずつ発信していくことが大切。

### 【職場での女性活躍について】

・市内の中小企業はほとんどがオーナー企業であり、オーナーの考え方で企業の動きは変わる。まずは伸び悩んでいる日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会会員増加に向けて、経営者へ向けた発信を行っていく必要がある。商工会議所の議員総会で5分程度時間を取ってもらったらどうか。

・男女間の賃金格差是正に向けて、まずは格差があるという認識を持つことが重要であり訴えていくことが大切。

・コロナ禍で、新規高卒者の県内就職率が上昇している好機を生かし、企業側がいい人材を獲得するためにもリーダーの会に入っていることがメリットとなるようなアピールポイントや方策があるとよい。

・女性個人が積極的に管理職を目指せるよう、課題の解決や意識改革を図っていく必要がある。

### 【家庭・育児】

・家事シェアについて、パンフレットを使って可視化するのはとても良い方法。家庭での分担がよりはっきり見えてくる。学校教育でも使ったらよいのではないか。

・育児に関して家庭のみならず保育士もほとんどが女性のため、女性が担うイメージが強い。男性保育士も増やしていくよう検討されたい。

### 【IT女子の育成】

・技術開発者の性別がロボットの外見やプログラムに影響していく可能性がある。引き続きサンロクでのIT女子育成を続けていくことは大切だと考える。多様な人たちが関わるべきであり、可能であれば、大学や産業技術短期大学校とも協力連携できれば良い。

### 【若い女性の定着について】

・地方に若い女性を定着させるために、多様な雇用先や仕事の創出が必要。自主的に新しい仕事を創ったり、これまで地方ではビジネスになっていないような分野の起業へ向けて支援していくことが必要。

・優秀な女性の雇用が企業にとってはメリットであり、企業イメージも上がる。また、地域に若い女性が定着することは、これからの地域を支えていくことになるという構図を示すことが大事。